佐志岳（南部中学校通信）Ｎｏ．２０

前へ☆　周りへ☆　発信！

学校教育目標　「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」
校　　訓　「自主・責任・規律・親和」　Ｒ５．１２．１１発行　文責　校長　本多　博

令和５年度生徒会役員選挙が行われ、南部中学校をリードする新しい生徒会長と副会長が決まりました！

南部中学校生徒会会則に基づき、令和５年１２月５日（火）に「令和５年度南部中学校生徒会役員選挙」の立会演説会と投票を行いました。この生徒会役員選挙は、生徒会長１名、副会長３名を選出する大切なものでした。

選挙当日の立会演説会では８名の立候補者の皆さんが、南部中学校をより良くしたいという熱い思いや考えを、しっかりと訴えてくれました。立候補してくれた８名の皆さんの選挙期間を通したこれまでの頑張りに本当に感謝しています。

そして、投票の結果選ばれた新しいリーダーの皆さん、しっかりと頑張ってください。皆さんの活躍に大いに期待しています。

新生徒会本部役員

左から	１年副会長	日高　暖
	生 徒 会 長	松永　真喜
	２年副会長	江川　彩音
	２年副会長	吉永　倫太朗

僕は生徒のみんなが楽しく学校生活を送ることができるようにアンケートを取り、アンケートの結果をもとに、学校を変えていきます。

生徒会長　松永　真喜

私が生徒会で行いたいことは、学校生活アンケートを行って不便なところの解決に取り組むことです。そして、全校で遊ぶ機会を作ってみんなの中を深め、学校生活を充実させたいです。

２年副会長　江川　彩音

僕は生徒のみんなが楽しく過ごせる学校にしたいと思います。そのために、生徒の気持ちに寄り添えるアンケートをします。そして、学校の変えたいところを聞いて、それを変えることが出来るようにします。

２年副会長　吉永　倫太朗

僕は校則を生徒達の意見を聞いて、変えていきたいと思います。そして、生徒会長をサポートしながら学校を引っ張っていきます。よろしくお願いします。

１年副会長　日高　暖

今年も人権について学んでいます。

南部中学校では「長崎県人権・同和問題啓発強調月間」に合わせて、人権学習と人権集会を毎年実施しています。今年度は、「インターネット・SNS等の利用から人権教育について学ぶ」ことをテーマに学習を深めました。

また、１２月８日の人権集会では、「Take it！虹」の儀間由里香さんを講師にお招きして「性の多様性」について学び、最後に南部中学校人権宣言を採択しました。

これらの人権学習では、各学年から選ばれた人権学習実行委員が、中心となって頑張ってくれています！

人権学習実行委員

１年　田中　心菜、田中　萌夏
２年　小田　結（副委員長）、関山　璃音
３年　日高　杏（委員長）、井手口　実紗穂

令和5年度　南部中学校　人権宣言

地球上で生活している私たち人間は、それぞれ違う顔、性格をもっています。肌の色や髪の毛の色、目の色なども違います。住んでいる場所や話す言葉、習慣にも違いがあります。人権とは、このような違いをもつ私たち人間が幸せに生きていくために必要な権利です。

しかし、今の世の中では決して人権が守られているとは言えません。なぜなら、さまざまな差別や偏見で苦しむ人々（子ども、女性、高齢者、障がい者等）が存在しているからです。
差別や偏見が起こる原因として、『自分の人権を大切に思い守ろうとするように、他者の人権も大切と思い守ろうとすることをしないから』という考えがあります。

私たちは、各学年で人権学習を深めました。基本的人権とは「人が生まれながらにして持っている権利」であるということ。うわさや不確かなことで決めつける見方は、人を傷つけるということ、等を学びました。これからも、このような学びをすることが大切です。

このような学びは、人権に関する知識・人権感覚を豊かにします。そして、この積み重ねが、南部中学校の生徒全員が安心して生活できる学校作り、さらに、人間が安心して生きていける社会作りにつながっていきます。

私たちは、次のことを実践することを宣言します。

一、私たちは、お互いを認め合い、言葉や行動に気をつけます。

一、私たちは、一人ひとりの個性を尊重し、助け合います。

一、私たちは、何に対しても偏見をもたず、命を大切にして生活します。

南部中学校がより良い学校になるよう、一人ひとりがこれらの項目をしっかりと実践することをここに宣言します。